

科目	地理総合	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	1年次全クラス
使用教材	地理総合(東京書籍) 新鮮高等地図(帝国書院) 地理総合ワークノート(東京書籍)						

目 標	<p>① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。</p> <p>② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題解決に向けて構想する力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養います。</p>
-----	--

## 身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	ステップ3 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理的な課題の解決に向けて考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	ステップ2 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。また、関連する事象と結びつけることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などが深まっている。
	ステップ1 教科書本文に記されている基本事項・重要語句を理解することができる。	授業で説明されている内容の重要性を知り地図帳で場所を捉えることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。グループワークや作業の指示に素早く反応し、対応することができる。
評価方法	授業時の観察 定期試験	授業時の観察 定期試験 課題レポート	授業に取り組む姿勢や意欲 授業ノートの取り組み ルーブリックでの自己評価

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA・B・Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつけます。

## 授業の形態、方法

- 基本的には教科書を順番に進めていきますが、その中で身近な地域レベルから都道府県レベル、世界レベルと視野を広げて学習していきます。プリントやノートを使用しますが、タブレットを使用して地図や画像を確認することもありますので、chromebookは必ず充電しておいてください。
- 内容によってグループ学習やレポート作成、発表などを行うことがあります。

## 担当者より

- 地理での学びで最も大事なことは「想像力」です。世界の遠い地域で起きている事象でも、その地域で暮らす人々の願いや課題を学び理解を深めることこそ、国際理解の第一歩であると思います。地図帳や資料集等最大限に活用しながらイメージを膨らませて学習に臨みましょう。
- 防災の分野では、身近な地域の特色を理解しながら、防災・減災の観点から主体的に学び、実践できる力をつけましょう。

学習計画

月	単元名	予定時数	学習の内容とねらい	実施時数
4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界	19 (5)	○世界各地における、太陽高度や昼夜の時間の季節変化と標準時を確認し、緯度や経度との関係について考えます。地軸の傾きや自転・公転による影響を理解します。 ○地図にはさまざまな種類が存在することについて理解します。 ○地球を平面の地図では正確に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考えます。	
	第2章 地図や地理情報システムの役割	(6)	○私たちの生活にさまざまな地図が利用されていることを理解します。 ○多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考えます。 ○主題図にはさまざまな表現方法があることを理解します。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けられるかを考察します。 ○地理情報システム(GIS)が幅広い分野で使われていることについて理解します。 ○GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考えます。	
6	第3章 資料から読み取る現代世界  (前期中間試験Ⅱ)	(8)	○流線図の作成や統計の読み取りを通じて、グローバルな結び付きの変化や、各種交通手段の特徴について考察します。 ○情報通信技術(ICT)の普及状況の推移や地域的な傾向を読み取ったうえで、情報通信技術の普及にもなる利点と課題を考察します。	
7	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	13	○地域によって文化が異なる理由について理解します。 ○文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解します。 ○世界の宗教の分布について理解します。 ○宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解します。	
8	1節 生活文化の多様性と国際理解	(6)	○山地におけるさまざまな暮らしの工夫について理解します。 ○山地における自然的・文化的なめぐみに気づき、その利用について理解します。 ○河川がつくる平野の小地形について理解します。 ○宅地化による伝統的な土地利用の変化が、どのような影響をもたらしているかを理解します。	
9	2節 生活文化と自然環境 ①地形 3節 生活文化と自然環境 ②気候  (前期期末試験)	(7)	○さまざまな海岸の地形とその利用について理解します。 ○海岸の地形が自然的、人為的要因によって変化していることを理解します。 ○大気の大循環によって生じる気圧帯について理解します。 ○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考えます。	
10	4節 生活文化と産業	15 (7)	○自然環境の面から、食生活の地域差について理解します。 ○社会環境の面から、農業形態の地域差について理解します。 ○食文化に多様性が生じる理由について理解します。	
11	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題  (後期中間試験)	(8)	○環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解します。 ○生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考えます。 ○森林の減少や砂漠化の進行について理解します。 ○森林の減少や砂漠化が人間の活動によって引き起こされていることを理解し、改善に向けた取り組みを考えます。	
12	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色	17 (11)	○地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解します。 ○先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考えます。 ○日本の地形の特徴について理解します。 ○日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解します。	
1	2節 さまざまな自然災害と防災	(6)	○地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解します。 ○先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考えます。 ○日本の地形の特徴について理解します。	
2	(後期期末試験)		○ハザードマップを利用し、身近な地域の自然災害の可能性を読み取ります。 ○季節によって発生しやすい気象災害の要因・影響について考えます。 ○大雨や集中豪雨によって発生する洪水災害はどのように発生するのか、その原因について理解します。 ○土砂災害の発生のメカニズムを理解し、どのような場所が被害を受けやすいかを考えます。 ○都市型災害の要因・影響を考え、都市型災害が発生した際にどのような行動をとるべきかを考えます。 ○大規模災害への対応について、自助・共助・公助の視点からどのようなことが行われているか理解します。 ○これまでの災害の教訓を生かし、特に自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきかを考えます。	
3				
合計時数		64		